



ご挨拶

一般社団法人札幌地区サッカー協会
会長 山脇 栄

2020年初頭から流行し始めたコロナパンデミックに対応して得た様々な教訓が協会の競技運営能力を高めたこの数年。人間の英知と努力のすばらしさを讃えるとともに、サッカー協会としてさらなる発展に向けた組織強化に何が必要なのかを考えなければならない2024年度が始まりました。

当協会は2033年に創立100周年を迎えます。それに向けて具体的な計画を立てる準備を進めようと考えています。昨年度の当協会登録選手数は約1万3千人でした。そのサッカーファミリーである老若男女全てのサッカーを愛する人々にサッカーを「する」「観る」「支える」「語る」という喜びを提供し、サッカーを楽しめるスポーツ文化の創造を目指し、コロナ感染対策を継続して開催してきた経験を活かしながら今年度も安心して大会運営出来るように全力を挙げて取り組んでまいります。

札幌地区サッカー協会は昭和9年（1934年）に創立され昨年度は節目の90年目でした。残念ながら数年に及ぶコロナ渦による影響で90周年記念事業の実施は小規模な取り組みしか出来ませんでした。

法人として今まで積み上げてきた実績と経験をもとに、まだまだ未熟な組織体制をはじめ改善すべき点を明確に把握し、より安定した信頼性の高い組織を構築し、来るべき100周年に向けて準備委員会を組織して備えを始めてまいります。

少子化の影響は計り知れないものがあります。どのスポーツ団体も競技人口の普及拡大に苦心し、課題山積の状況です。サッカー協会も然りです。JFAは中学校部活動の地域移行に関して様々なアプローチを模索しています。札幌市においても部活動地域移行及び地域スポーツ・文化芸術活動の機会確保に向けた検討委員会を立ち上げ、意見交換の場が継続して持たれるとの事を聞き及んでいます。

当協会は今年度も北海道コンサドーレ札幌の「松山光プロジェクトパートナー」、エスポラーダ北海道のオフィシャルパートナーとなり、子どもたちの招待や前座試合への参加をはじめ、キッズ、女子、シニア層の拡大に努めてまいります。

数多くの先輩方が脈々と続けてきたフットボール愛があって現在の隆盛があります。

サッカーに携わる老若男女すべての人が互いにリスペクト『思いやり』の精神を忘れず、サッカーが出来ることに感謝し、来るべき100周年を見据えて2024年度の活動を進めていきたいと思えます。

札幌地区はもとより北海道、日本のサッカー発展のためご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。全てのサッカー関係者の皆様のご健勝・ご多幸を祈念し年度当初のご挨拶とさせていただきます。

2024年シーズンもどうぞよろしく願い申し上げます。

2024年5月